

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演 習
科 目 名	解剖生理学実習(心電図)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室・運動生理学実習室
担 当 教 員	西尾 嘉津政				
実務経験とその関連資格	理学療法士として大阪回生病院に6年間勤務勤務。 心大血管疾患リハを中心に、整形、中枢、呼吸器、内部障害疾患の急性期、回復期、外来、訪問リハに従事。 3学会合同呼吸療法認定士、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、認定理学療法士(循環、学校教育)の資格を所持。				
《授業科目における学習内容》					
参考書・配布資料を基に、心臓を中心とする循環器の解剖・生理学の復習、心電図の仕組みを講義する。 また、自ら正常・異常心電図波形を書き、心拍数の計算、波形の分類を行う。 グループに分かれて実際に心電図の使用をし、操作・検査を体験する。					
《成績評価の方法と基準》					
確認試験:100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考書:早分かり生理学ハンドブック 孫 明州.株式会社ナツメ社,2011 その他:配布資料、モニター心電図、12誘導心電図					
《授業外における学習方法》					
心臓の解剖・生理学の復習をしておく。 心電図の波形の動画を見ながら、不整脈の特徴を覚える。					
《履修に当たっての留意点》					
機械を扱う際は丁寧に、グループで協力して操作する。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	心臓の解剖・働きを説明できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	心臓の解剖学、生理学	
	各コマにおける授業予定	心臓の解剖・生理学のおさらい			
第2回	授業を通じての到達目標	心電図の使用方法が説明できるようになる。 心電図の波形を正常波形の特徴を説明できるようになる。 心電図波形から心拍数を計算できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	正常心電図波形	
	各コマにおける授業予定	心電図の仕組み、正常心電図波形			
第3回	授業を通じての到達目標	心電図の波形を正常と異常で見分けることができるようになる。 異常心電図波形を分類できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	異常心電図波形	
	各コマにおける授業予定	異常心電図波形			
第4回	授業を通じての到達目標	モニター心電図、12誘導心電図の操作ができる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図 自転車エルゴメーター	心電図の操作方法	
	各コマにおける授業予定	心電図体験			
第5回	授業を通じての到達目標	心臓の解剖・働きを説明できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	心臓の解剖学、生理学	
	各コマにおける授業予定	心臓の解剖・生理学のおさらい			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	心電図の使用方法が説明できるようになる。 心電図の波形を正常波形の特徴を説明できるようになる。 心電図波形から心拍数を計算できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	正常心電図波形
	各コマにおける授業予定	心電図の仕組み、正常心電図波形		
第7回	授業を通じての到達目標	心電図の波形を正常と異常で見分けることができるようになる。 異常心電図波形を分類できるようになる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図	異常心電図波形
	各コマにおける授業予定	異常心電図波形		
第8回	授業を通じての到達目標	モニター心電図、12誘導心電図の操作ができる。	参考書 配布資料 モニター心電図 12誘導心電図 自転車エルゴメーター	心電図の操作方法
	各コマにおける授業予定	心電図体験		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			